

久保 慶一（早稲田大学・政治経済学術院・教授、計画研究（B02）分担者） 報告

## How is Statehood Perceived in Bosnia? An Analysis of the 2017 Survey Data

本報告では、B02 班で作成した共通の調査票を用いて 2017 年に実施した世論調査のデータを用いて、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの市民たちが有する国家観について計量分析を行った。具体的には、ボスニアの主要 3 民族（ボシュニャク人、セルビア人、クロアチア人）において、現状の国家体制（2つの構成体からなるボスニア）からの変更を主張する主導的な民族主義政治家の言説に対して各民族の市民がどの程度支持・共感しているのかを明らかにし、各民族内でそうした言説に対する支持の度合いに相違が見られるのはなぜか（各民族内で主導的な民族主義政治家の言説を受け入れない「反主流派」が生まれるのはなぜか）について、計量分析を試みた。報告に対して討論者、フロアから興味深い質問、コメントが寄せられ、筆者個人の研究成果の発信、さらには B02 班としての研究成果の発信をどのように進めていくかを考える上で、大変有意義なパネルとなった。会議への参加を通じて様々な国の研究者との交流を深めることができ、筆者個人のネットワークの拡大にとっても大変有意義であった。